

比較家族史学会第48回研究大会

日本比較家族史学会（会長：岩本由輝・東北学院大学教授）の第48回研究大会（実行委員長：戒能民江・お茶の水女子大学教授）が2006年5月20日（土）～21日（日）の2日間にわたって文京区のお茶の水女子大学で開催された。今回の大会は副会長である戒能教授がお茶の水女子大学21世紀 COE プログラム「ジェンダー研究のフロンティア」(F-GENS) の拠点リーダーを務めておられることから、同プログラムとの共催で実施され、大会全体が「グローバル化のなかの家族とその変容—アジアにおける家族とジェンダー—」というテーマのシンポジウムとして行われた。その結果、以下のプログラムの通り、多くの報告が人口と少なくとも間接的に関連するものであった。

シンポジウム 「グローバル化のなかの家族とその変容—アジアにおける家族とジェンダー—」

司会 戒能民江・三成美保（摂南大学）

趣旨説明 戒能民江

<第1部 東南アジア・南アジアにおける家族>

「家族のため」とは誰のため？—海外就労とフィリピンの家族をジェンダーから考える—

小ヶ谷千穂（横浜国立大学）

植民地インドにおける「家族」のイデオロギーの諸相

粟谷利江（東京外国語大学）

<第2部 東アジアにおける家族>

中国における人口政策の変動と生殖コントロールの浸透—上海を中心に—

小浜正子（日本大学）

家族というジェンダー・ポリティックス—韓国の戸主制廃止をめぐる女性・市民社会・国家—

申キーヨン（お茶の水女子大学）

日本におけるシングルマザー政策の展開

湯澤直美（立教大学）

近現代日本の生／性の政治とジェンダー家族

牟田和恵（大阪大学）

<第3部 比較のなかの家族>

ヨーロッパにおける家族と家族法の変容—法は家族を定義できるのか—

床谷文雄（大阪大学）

規範理論における「家族」

岡野八代（立命館大学）

比較と総括—ジェンダー法史学からの問題提起—

三成美保

なお、本年の秋季研究大会は11月18日（土）に立命館大学衣笠キャンパスで開催され、第49回研究大会は来年の5月下旬に神戸大学で開催される予定である。（小島 宏記）

日本経済政策学会第63回大会

日本経済政策学会（会長：丸谷治史・神戸大学教授）の第63回大会（大会運営委員長：杉野元亮・九州共立大学教授）が2006年5月27日（土）～28日（日）の2日間にわたって北九州市の九州共立大学で開かれた。今回は「『効率』と『安心』の経済政策—戦後60年日本経済の回顧と展望—」がテーマとなっており、そのテーマの下に初日には共通論題報告・討論が行われ、2日目には18の自由論題報告セッションが設けられた。下記の通り、今回の共通論題の報告者全員が当研究所の関係者（研究評価委員、OB）で、討論者にも関係者（機関誌編集委員）が含まれていた。

共通論題：「効率」と「安心」の経済政策－戦後60年日本経済の回顧と展望－

座長 丸谷冷史（神戸大学）・横山 彰（中央大学）

- (1) 戦後60年日本経済の回顧と展望 橘木俊紹（京都大学）
(2) 人口減少時代と政策対応 大淵 寛（中央大学）
(3) 「安心」のための制度設計 駒村康平（東洋大学）
討論者 稲葉陽二（日本大学）・永瀬伸子（お茶の水女子大学）・川野辺裕幸（東海大学）

自由論題報告でも人口関連の報告がなされたが、以下のセッションに分散していた。

セッション4 人口・資源・環境政策(1) <座長> 荒山裕行（名古屋大学）

- (1) 出生順位を考慮に入れた少子化対策効果に関するシミュレーション分析
<報告者> 増田幹人（東海大学）
<討論者> 三好和代（神戸国際大学）

セッション10 福祉政策 <座長> 古郡頼子（中央大学）

- (1) 外国人労働者と健康保険未加入－磐田市在住日系ブラジル人に関する実証分析結果を中心に－
<報告者> 小島 宏（国立社会保障・人口問題研究所）
<討論者> 丸尾直美（尚美学園大学）

セッション13 地域・都市政策(2) <座長> 眞継 隆（愛知学院大学）

- (1) 地域人口の最適配分
<報告者> 林 正義（一橋大学）
<討論者> 加藤尚史（名古屋大学）

セッション17 地域・都市政策(3) <座長> 北野正一（兵庫県立大学）

- (2) 人口減少社会の地域マクロ経済モデル－静岡県経済のシミュレーション－
<報告者> 山下隆之（静岡大学）
<討論者> 平尾元彦（山口大学）

なお、日本人口学会会員としては以上のうちの7名のほか、吉田良生（朝日大学）、駿河輝和（神戸大学）両教授も討論者として参加していた。今回は日本人口学会理事の杉野教授が大会運営委員長を務められたこともあり、人口色が強いものであった。来年は5月23日（土）～24日（日）に慶應義塾大学三田キャンパスで開催される予定である。（小島 宏記）